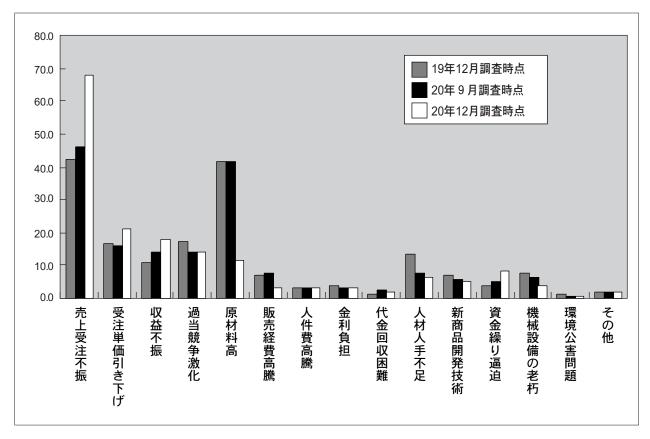
	19年12月	20年9月	20年12月			前回比増減
	(前年)	(前回)	(今回)	(うち製造業)	(うち非製造業)	月月日17日7日70以
売 上 受 注 不 振	42.3	46.4	67.9	(71.9)	(64.2)	21.5
受注単価引き下げ	16.5	15.8	21.0	(19.0)	(22.8)	5.2
収 益 不 振	10.9	14.0	18.1	(15.0)	(21.0)	4.1
過当競争激化	17.0	14.0	14.3	(9.8)	(18.5)	0.3
原 材 料 高	41.3	41.5	11.4	(11.8)	(11.1)	-30.1
販 売 経 費 高 騰	7.3	8.0	3.5	(3.3)	(3.7)	-4.5
人 件 費 高 騰	3.3	3.2	3.2	(2.0)	(4.3)	0.0
金 利 負 担	3.8	2.9	2.9	(2.0)	(3.7)	0.0
代金回収困難	1.0	2.6	1.9	(0.7)	(3.1)	-0.7
人材人手不足	13.7	7.4	6.7	(3.9)	(9.3)	-0.7
新商品開発技術	7.1	5.7	5.4	(10.5)	(0.6)	-0.3
資金繰り逼迫	3.8	5.4	8.6	(7.8)	(9.3)	3.2
機械設備の老朽	7.8	6.3	4.1	(2.6)	(5.6)	-2.2
環境公害問題	1.0	0.6	0.6	(0.7)	(0.6)	0.0
そ の 他	1.8	2.0	1.9	(1.3)	(2.5)	-0.1



- (1) 今回の調査の全産業での当面の経営上の問題点をみると、①売上受注不振67.9%(前期比+21.5ポイント)、②受注単価引下げ21.0%(前期比+5.2ポイント)③収益不振(前期比+4.1ポイント)の順になっている。
- (2) 今回調査では、原材料高を問題点とする企業が11.4%と前期比30.1ポイント減少している。□前回調査では製造業で原材料高を問題とする企業は50%であったが今回調査では、11.8%に減少している。非製造業も大幅に減少している。
- (3) 業種別では、機械工業が売上受注不振との回答を92.1%と最も高く、高岡銅器が85.7% の順となっている。□